

| | | | |
|-----------------|-----------------|------|-------|
| 行政評価シート（事務事業評価） | | 評価年度 | 4年度 |
| 事業名 | 穂坂自然公園管理運営事業 | 担当課 | 産業観光課 |
| 事業内容(簡潔に) | 穂坂自然公園の管理運営を行う。 | | |

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

| | | | |
|---------------|------|---------------|-------------|
| 第7次総合計画での目的体系 | 基本方向 | 魅力あふれるまちづくり | |
| | 政策 | 環境と調和した農林業の振興 | |
| | 施策 | 農林業の振興 | |
| 関連する個別計画等 | | 根拠条例等 | 韮崎市穂坂自然公園条例 |

2 計画(PLAN):事務事業の概要

| | |
|-------|--|
| 事業の目的 | 隣接する豊かな森林資源を活用した交流拠点の創出及び自然を肌で感じられる体験イベント等を実施することを目的とする。 |
| 事業の手段 | 穂坂自然公園ふれあいセンターの管理（4月～11月 ※冬季閉館） ・管理人2人 常駐1人 ・月2～3回の例月イベント及び、随時受付イベントの開催 ・施設概要 ふれあいセンター、多目的広場、自然観察園、屋外シャワー ・サンライズヒル・穂坂ヤマケンカップ |
| 事業の対象 | 市民、観光客等 |

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

| | | 元年度 | 2年度 | 3年度 |
|-----------|------------------------|-------|-------|-------|
| A | 事業費 (千円) | 7,451 | 6,508 | 6,437 |
| 財源内訳 | 国・県支出金 | | | |
| | その他(使用料・借入金ほか) | 160 | 133 | 158 |
| | 一般財源 | 7,291 | 6,381 | 6,279 |
| B | 担当職員数(職員E) (人) | 0.15 | 0.15 | 0.15 |
| C | 人件費(平均人件費×E) (千円) | 1,007 | 987 | 988 |
| D | 総事業費(A+C) (千円) | 8,458 | 7,495 | 7,425 |
| 主な事業費用の説明 | 施設管理業務委託料、冬季トイレ清掃業務委託料 | | | |

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円),2年度(6,575千円),3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

| | 指標名 | 指標の算出方法 | 実績値 | | |
|---------------|---|--|-------|-------|-------|
| | | | 元年度 | 2年度 | 3年度 |
| 活動指標 | 1 営業日数 | 日 | 214 | 214 | 214 |
| | 2 イベント開催回数 | 回 | 120 | 104 | 115 |
| | 3 利用者数 | 人 | 5,339 | 5,822 | 5,072 |
| 妥当性 | <input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない | | | | |
| 上記活動指標と妥当性の説明 | 1 | 条例に則って冬季は閉館としているが、トイレの使用は可能となっている。 | | | |
| | 2 | コロナの関係でイベントの中止もあったが、屋外のイベントを多めに企画する等、工夫した。 | | | |
| | 3 | 4月から11月の間に公園を利用している人数。 | | | |

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

| | 指標名 | 指標の算出方法 | 実績値 | | | |
|-----------------------------|-----|---|---------------|------|------|------|
| | | | 元年度 | 2年度 | 3年度 | |
| 成果指標 もしくは まちづくり 指標 | 1 | 1 営業日あたりのコスト | 総事業費/営業日数(千円) | 39.6 | 35.1 | 34.7 |
| | 2 | イベント参加者数 | 人 | 970 | 570 | 584 |
| | 3 | 1 営業日当たりの公園利用者数 | 利用者数/営業日日数 | 44.5 | 48.6 | 42.3 |
| 成果 | | <input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない | | | | |
| 上記指標の妥当性と成果の内容説明 | | 1 総事業費が減少しているため、1 営業日当たりのコストは減少傾向にある。 2 コロナの影響でヤマケンカップ等の大型イベントは中止となり、小型イベントも参加者数が減少した。 3 トレイルランニングができる公園として認知度も上がっており、コロナ禍でも利用者の減少はある程度抑えられている。 | | | | |

| | |
|----------|--|
| 事務事業総合評価 | <input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成 |
|----------|--|

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

| | | |
|----------|---|---|
| 今後の事業展開 | <input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要) | |
| 事務事業の改善案 | 改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか) | |
| | 令和4年度の改善計画(今後の事業展開説明) イベント参加者の声は好評であり、リピーターも多い。しかし、コロナの影響でたくさんの人数を動員するイベントは行えなかった。(ヤマケンカップ等) 今後、自然豊かな立地条件を生かし、トレイルランニングコースを活用した運動イベントや高齢者を対象にした健康増進イベント等も行っていけるよう、施設内や敷地内の清掃・管理の徹底も含め検討する。また、利用者数増加のために SNS 等を通じて啓発活動に力を入れる。 。 | |
| 改善の経過 | 令和元年度…屋外シャワーの設置 令和3年度…コピー機の買い替え | |
| 直近の評価結果 | 内部評価 | 2年度 <input type="checkbox"/> 拡大 - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| | 評価時の改善案 | 毎月開催しているイベントは好評で、リピーターも多く、イベント参加者は年々増加していたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、イベント内容の変更や開催日数を減らすなどの対応を行った。今後、新しい生活様式を取り入れる中で、自然を生かした自然観察園内でのウォーキングイベントや子ども向けの散策イベント等は需要が高まることが想定されるため、イベント内容の見直しや実施方法について、検討する必要がある。 |
| | 外部評価 | 対象外 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| | 評価時の対応 | 対象外 |
| 課長所見 | トレランコースの整備や施設内の清潔さを維持させ、体験型交流施設として多くの方々に利用されるよう管理を徹底していく必要がある | |